

## スズキ、新型「V-STROM(ブイストローム) 1050」、 「V-STROM 1050XT」を発売



V-STROM 1050



V-STROM 1050XT

V-STROM 1050XT  
「ヘリテージスペシャル」

スズキ株式会社は、大型二輪車の**新型「V-STROM(ブイストローム) 1050」**、「**V-STROM 1050XT**」を4月24日より発売する。

「V-Strom 1000」は、2014年に国内で発売して以来、街中から高速道路、山岳路まで、長距離ツーリングでの様々な状況で快適に走行を楽しむことができるスポーツアドベンチャーツアラーである。

このたび全面改良した**新型「V-STROM 1050」**、「**V-STROM 1050XT**」は、「The Master of Adventure (冒険の達人)」を開発コンセプトに、「どこまでも走りたい」「山岳路でも自由にマシンを扱いたい」というライダーの願いを念頭に置き、長距離ツーリングでより快適に走行を楽しむことができるよう、エンジン性能を向上し、電子制御システムや装備の充実を図った。

1,036cm<sup>3</sup> V型2気筒エンジンは、電子制御スロットルの採用や吸排気タイミングの調整により、出力を5kW向上しながら、12月より新型の二輪車を対象に導入される令和2年排出ガス規制に対応した。また、出力特性を3つの中から選択可能なSDMS(スズキドライブモードセレクトター)や3段階から選択可能なトラクションコントロールなど、様々な走行シーンに対応する電子制御システム S.I.R.S(スズキインテリジェントライドシステム)を新たに搭載し、長距離ツーリングに求められる使い勝手や利便性を向上させた。

スタイリングには、1988年に発売したスズキ初のアドベンチャーバイク「DR750S」をモチーフにしたデザインを、より現代風にアレンジすることで、スポーツアドベンチャーツアラーらしい力強いイメージを強調した。また、高さの調整が可能なウインドスクリーンに加え、頑強なスタイルを演出するアルミ製のテーパー形状のハンドルバーを標準装備した。

さらに、**新型「V-STROM 1050XT**」には、新採用のクルーズコントロールやヒルホールドコントロールのほか、荷重や下り坂に応じてブレーキを制御するロードディペンデントコントロールやスロープディペンデントコントロールなども搭載した。また、ワイヤースポークホイールやナックルカバーに加え、アルミ製アンダーカウリング、アクセサリバー、センタースタンド、シート高調整機能、LED式ターンシグナル、12Vアクセサリソケットを新たに標準装備した。車体色には「DR750S」をベースとした1988年のパリ・ダカール・ラリー出場マシン「DR-Z(ジータ)」を彷彿とさせる特別色「ヘリテージスペシャル」を設定した。

● 「V-STROM 1050」、「V-STROM 1050XT」の主な特長

エンジン

- ・ 低中速域での力強さと扱い易さを特長とする、出力(78kW/8,500rpm)、トルク(99Nm/6,000rpm)の1,036cm<sup>3</sup>V型2気筒エンジン。
- ・ 電子制御スロットルの採用や吸排気タイミングの調整により、出力を5kW向上しながら、12月より新型の二輪車を対象に導入される令和2年排出ガス規制に対応し、29.2km/L<sup>\*1</sup>の燃費性能を実現。

デザイン

- ・ 1988年に発売したスズキ初のアドベンチャーバイク「DR750S」をモチーフにデザインしたスタイリングを、より現代風アレンジすることで、スポーツアドベンチャーツアラーらしい力強いイメージを強調したデザイン。
- ・ 「V-STROM 1050」の車体色は、黒/グレー「ガラスパークルブラック/ソリッドアイアングレー」、黒/白「ガラスパークルブラック/ブリリアントホワイト」、黒「ガラスパークルブラック」の3色を設定。
- ・ 「V-STROM 1050XT」の車体色は、黄「チャンピオンイエローNo.2」、ヘリテージスペシャル(白/オレンジ「ブリリアントホワイト/グラスブレイズオレンジ」)、黒「ガラスパークルブラック」の3色を設定。

装備

	V-STROM 1050	V-STROM 1050XT	概要	
S.I.R.S (スズキインテリジェント ライドシステム)	電子制御スロットルシステム	○	○	-
	SDMS(スズキドライブモードセクター)	○	○	・出力特性を3つの中から選択可能
	トラクションコントロールシステム <sup>※2</sup>	○	○	・3段階から選択可能(解除可能)
	スズキイーズスタートシステム	○	○	・ワンタッチでエンジン始動が可能
	ローRPMアシスト	○	○	・スムーズな発進を補助
	クルーズコントロールシステム	-	○	・スロットルを回さずに、設定した一定速度で走行
	ヒルホールドコントロールシステム	-	○	・上り坂で停止後の発進時に車両後退を抑制
	ロードデペンデントコントロールシステム	-	○	・車両の荷重状態に応じて制動力を補正
	スロープデペンデントコントロールシステム	-	○	・下り勾配に応じてABSの制御を最適化
	モーショントラックブレーキシステム <sup>※3</sup> コンビネーションブレーキシステム	-	○	・コーナリング時に車体のバンク角に応じて制御するABS ・ABSは2段階から選択可能
ABS <sup>※4</sup>	○	-	・フロントブレーキへの入力がか一定圧を超えた場合、 自動的にリヤブレーキを増圧させ、車体を安定 ・1段階	
ウインドスクリーン	高さ3段階調整 (工具必要)	高さ11段階調整 (工具不要)		
ホイール	キャスト	ワイヤースポーク		
テーパーハンドルバー	○	○		
USBソケット	○	○		
12VアクセサリースOCKET	用品設定	○		
ナックルカバー	用品設定	○		
アンダーカウリング	用品設定	○		
アクセサリバー	用品設定	○		
センタースタンド	用品設定	○		
シート高調整機能	用品設定	○		
ターンシグナル	バルブ	LED		

※1 国土交通省届出値:定地燃費値(60km/h)2名乗車時。定地燃費値は、車速一定で走行した実測にもとづいた燃料消費率です。燃料消費率は、定められた試験条件のもとでの値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法、車両状態(装備、仕様)や整備状態などの諸条件により異なります。

※2 トラクションコントロールは、あらゆる条件下で後輪のスリップ(スピン)を完全に制御したり転倒を防止したりするものではありません。

※3 ABSは制動距離を短くするためのシステムではありません。コーナーの手前では十分に減速するなど、走行環境に合った安全運転を心がけてください。

※4 ABSは制動距離を縮めるものではありません。また、コーナリング中のブレーキングによる車輪の横滑りはコントロールすることができません。ABSを過信せずに安全運転を心がけてください。

● 年間目標販売台数 300台

● メーカー希望小売価格(消費税10%込み)

商品名	エンジン	価格(円)
V-STROM 1050	4サイクル 1,036cm <sup>3</sup>	1,430,000
V-STROM 1050XT		1,518,000

\* 価格(リサイクル費用を含む)には、保険料、税金(消費税を除く)、登録等に伴う費用は含まれない。